

平成24年度事務事業外部評価 評価結果と対応方針

外部評価番号	1	事業名	公有財産管理事業	所管課	総務部 管財課
--------	---	-----	----------	-----	------------

各委員による評価や意見等				
評価	委員数	改善したほうがよいと思う点	今後どのように取り組むべきか	
現 行 ど お り ・ 拡 充	9	-	現状どおり継続すべきと思うが、今後も良い状態での管理に努めてください。	
		-	維持管理をしっかりと。	
		-	売却可能資産の早期処分	
		-	土地活用は公・民共に人口減少との関係で課題となる。管理データの管理、活用両面で検討すべきと考える。	
		-	評価シートに記された課題改善に確実に取り組んでほしい。	
		事業の現場検証を行い意見を聞きながら必要であるかないかを精査する必要がある。	もう少し分析し、担当部が自発的に行動することを望みます。	
要 改 善	6	公有財産の圧縮	売却価格の見直しにより、売却促進を図る。クレーム対策的確な実施。	
		公有財産システムデータの整備	公有財産、特に普通財産の整備により、未利用地の有効活用、貸借契約が容易になる。	
		用途別に分類し、売却、貸付を明確化し、もっとスリム化を図る。(コスト削減)	特別物件は別として、宅地売却、市民農園的に有効利用。維持管理費の大幅節減。(4半期別・目標執行力検証) <一部維持管理委託>	
		市民への説明不足(情報発信)		
		もっと効率的に売却処分する必要があると思う。	市のホームページ、広報等で周知し、未利用財産が増加しないよう積極的に売却処分し、管理費の圧縮に取り組むべき。	
		未利用地の活用	未利用地の貸付、売却処分を積極的に進める。	
		普通財産件数の圧縮	普通財産約2,000件売却可能件数27件との提示。売却件数の見直し必要。土地及び建物の資産価値の下落を踏まえ、売却を加速する必要あり。	
廃止	0			
各委員評価集計結果		現行どおり・拡充	要改善	廃止
		9	6	0

委員会としての評価結果	市有財産データの整備により、詳細を把握することで、管理対象財産のうち、可能なものについては、売却処分・賃貸等を早急に進める必要がある。	要改善
-------------	---	-----

※「委員会としての評価結果」は、各委員の評価をまとめて最終的に審議した上での評価であって、「各委員評価集計結果」の最も多い評価を評価結果とするものではありません。

市の検討結果

評価結果を受けて現時点で考える今後の対応方針	○ 公有財産システム(本年10月運用開始)の市有財産データにより、財産の現況を詳細に把握したうえで、売却処分や賃貸による貸し付け等、積極的な処理を行います。	改善
	<ul style="list-style-type: none"> 市有財産データにより、所管財産の地理的条件や現在の状態を詳細に把握します。 売却可能な財産は、ネットオークションや不動産協会等による売却や価格の再算出を検討するなど、公売に関する広報や売却促進策を積極的に行い、早期処分に努めます。 賃貸等が可能な財産は、広報及びホームページ等で貸し出し等の情報を提供する中で、積極的な活用を促します。 	